



2020年3月6日

ルフトハンザ カーゴ

ルフトハンザ カーゴと ANA Cargo、オーストラリアに救援物資を輸送

ルフトハンザ カーゴと ANA Cargo は、森林火災により被害を受けたオーストラリアへ、約 2 トン分の救援物資を共同で輸送しました。物資は 2020 年 2 月 3 日にルフトハンザ カーゴの取り扱いによってドイツのフランクフルトから東京まで輸送され、東京からは ANA Cargo によってオーストラリアのシドニーへと運ばれました。また DB シェンカー社も、このプロジェクトを物流面で支援し、寄付品の集荷等を行いました。

ドイツよりシドニーへ届けられたのは、「Deutschland hilft Australiens Wildtieren! (ドイツはオーストラリアの野生生物を助けます!)」の合言葉のもと、フェイスブックを通じて集まった 2 万人を超えるドイツのボランティアや動物愛好家達が、オーストラリアの動物救護団体の指導やアドバイスをもとに、布や毛糸から手作りしたポーチ(袋)や寝床です。これらは森林火災によって負傷し、住処や親を失った動物の赤ちゃんのために、救護所で使用されます。

ルフトハンザ カーゴはオーストラリアへの救援物資輸送に航空貨物共同事業(ジョイント・ベンチャー)パートナーである ANA Cargo と共に関わる事ができ、大変嬉しく思います。両社が共同事業の枠組みを越えて、連携、協力することにより、最短での航空輸送が実現しました。

ルフトハンザ カーゴについて

ルフトハンザ カーゴは、2018 年の売上高 27 億ユーロ、有償貨物輸送量 89 億トンキロの実績を持つ、世界有数の貨物航空会社です。世界中に約 4,500 人の従業員を擁し、空港間の輸送を専門としています。ルフトハンザ カーゴは、自社貨物機のほか、ルフトハンザ ドイツ航空、オーストリア航空、ブリュッセル航空、ユーロウイングス、およびサンエクスプレスにより運航される旅客機の貨物室、さらに広範なトラック輸送サービス網を活用して、100 か国以上にわたる、約 300 の目的地に貨物をお届けしています。貨物の大部分はフランクフルト空港を経由して輸送されます。ルフトハンザ カーゴは、ルフトハンザ ドイツ航空の完全所有子会社として、ルフトハンザ グループにおける物流スペシャリストの役割を担っています。